



西川町 議会だより

「女性」シリーズ

「なないろキッズ」のみなさん

活動紹介は裏表紙にあります。

2016.10.14 98号
発行 山形県西川町議会

9月定例会報告	2頁
補正予算	4
一般質問	6
決算審査	10
議会と町民の対話の集い	14
常任委員会の動き	18
追跡調査	20
行政視察	22
議会の動き	23

※モニターの声は前号の議会だよりに対するものです。

西村山市町議会初

西川町議会危機管理要綱の制定

西川町議会危機対応

危機

発生原因が外部に起因し、町民の生命、身体又は財産に重大な被害を及ぼす事態

発生原因が内部に起因し、不手際や不祥事、事故等により議会及び町行政の円滑な運営に著しい支障を及ぼす事態

・異常な自然現象被害
・大規模な火事
・大規模な事故

・我が国に対する
武力攻撃

・国民が免疫を獲得
していないインフル
エンザ・感染症の
全国的かつ急速な
まん延



武力攻撃事態
等における国民の
保護のための
措置に関する
法律

新型インフル
エンザ等対策
特別措置法

災害対策
基本法

危機対策本部

議長(議会事務局)

議長(議会事務局)

議員

議員

全員協議会

全員協議会



西川町議会は、平成28年9月7日施行で、西村山市町初となる議会の危機管理要綱を制定しました。

この要綱は全部で11条から構成されており、緊急事態の時には町民の安全安心のため、議会でも適確また迅速に対応していきます。

西川町は災害の少ない町ですが、いつ何時災害に遭うかわかりません。議員は常に危機意識を持ち、町当局とともに町民の生命財産を守るため、日頃より危機管理をしっかり意識していきます。

平成28年9月定例会は、9月2日から14日までの13日間の会期で開催されました。町からは28年度一般会計補正予算等5件、27年度各会計決算認定11件、人事案件2件、契約変更1件が提出され、慎重審議の結果、全員賛成で可決されました。議会からは、全国森林環境税の創設に関する意見書1件を提出し、慎重に審議した結果、賛成多数で可決されました。

一般質問は3人の議員が3件について行いました。また議会では、このたびの定例会で新たに議会危機管理要綱を制定しました。

危機管理要綱

第1条 (目的)

危機または危機となるおそれがある事態への対応について西川町議会の総合的な体制を整備し、併せて迅速かつ適切に対応することにより、町民が安心して生活できる環境づくりに資することを目的とする。

第2条 (定義)

「危機」とは次に掲げる事態をいう。
(1) 町民の生命、身体又は財産に重大な被害を及ぼす事態

行動マニュアル

- (1) 自身の安否及び連絡先を、自ら議会事務局へ報告するとともに、常に居場所又は連絡場所を明らかにし連絡体制を確立する。
- (2) 地域の被災者の安全確保、避難誘導に地域の一員として協力する。

また、第5条に情報伝達や、第6条に議長の対処処置を、そして第7条では、緊急事態が発生した場合又は町長が対策本部を設置した場合においては、別に定める行動マニュアルに基づき対処することなどを謳っています。

- (2) 議会及び町行政の円滑な運営に著しい支障を及ぼす事態
- 「緊急事態」とは、危機又は危機となるおそれがある事態をいう。
- 「危機管理」とは、緊急事態の発生を未然に防止し、又は緊急事態発生時に被害の拡大防止及び早期復旧を図ることをいう。

- (3) 議長は、町の対策本部と連携して、必要に応じ議員の登庁を指示する。
 - (4) 議長は、被災状況の報告や今後の対応を協議するため、議会と町執行部が集まって全員協議会を開催する。
- など詳細に、議員の災害時における行動マニュアルを規定しました。



▶平成25年豪雨災害
間沢川地内の土石流

質疑・応答

株 米月山

問 株米月山は、債務超過の状態にあると6月の議会で報告を受けた。会社存続をどのように考えているのか。

答 8月から販売関係の専門的な方が専務に就いた。さらに精米の受託販売ルート拡大を行っていく。

問 昨年今年も修繕料がある。業者はどこか。

答 天童の(株)山本製作所である。



▲発芽胚芽米糠玉除去装置設置場所

一般会計は、既定の予算額に2,511万円を追加し60億7,505万円に、国民健康保険特別会計は28万円を追加し7億5,075万円に、農業集落排水事業特別会計は59万円を追加し2,695万円に、介護保険特別会計は1,120万円を追加し7億6,159万円に、水道事業会計の収益的収支は57万円を追加し1億3,525万円になりました。(全員賛成)

補正予算

主な補正予算

■一般会計 (万円未満四捨五入)	
間沢職員公舎解体工事	81万円
大井沢温泉玄関通路修繕	70万円
月山自然水工場クリーンブース修繕	143万円
福祉バスヒーター修繕	50万円
介護保険特別会計繰出金	301万円
社会福祉法人さくらんぼ共生園負担金	▲60万円
未熟児養育医療費	94万円
西川の郷土食レシピ本再版代	63万円
発芽胚芽米製造施設糠玉除去装置修繕料	458万円
多面的機能支払交付金事業交付金	237万円
農業集落排水事業特別会計繰出金	59万円
山の幸振興対策支援事業補助金	▲139万円
西川小学校雪囲い設置工事	71万円
西川中学校消火栓設備修繕料	64万円
婦人会育成補助金	30万円
公民館等施設整備事業補助金	89万円
全国中学生力又一競技大会実行委員会負担金	148万円
地域福祉基金積立金	630万円

全国中学生力又一大会

問 大会は7月に終了している。6月の議会で補正予算を計上すべきでなかったか。

答 大会運営の準備を進めながらの対応で遅くなってしまう。

問 今回148万円を追加した内容は。

答 当初は、平成24年度の実績をもとに予算を計上した。その後、来年



▶月山湖のカヌー競技場

大井沢温泉館修繕

問 玄関通路を修繕する目的は。

答 大井沢直売所は玄関通路で販売を行ってきた。雨風が当たらないようにとの要望があり、通路を修繕する。

自然水製造工場の修繕

問 道の駅にしかわのりニューアル工事と一緒にできなかったのか。

答 クリーンブースの修繕は、リニューアルに入っていない。汚染発生を防ぐための別工事であり、急ぎよ実施する必要があった。



▲月山自然水工場クリーンブース

小学校雪囲い修繕

問 西川小学校が開校して5年、今年は雪が少なかったが、雪囲い設置修繕はこの部分のどういう設置か。

答 1月に屋根から落ちた雪が重くて、正面玄関の雪囲いの柱が破損した。柱と柱の間に柱を1本ずつ補強する。



▶西川小学校の正面玄関

人事

☆西川町町有林運営委員会委員の任命

古澤 憲一さん (綱取) (全員賛成)

☆西川町教育委員会委員の任命

奥山 秀征さん (海味) (全員賛成)

契約変更

☆町道梅沢根際線あづま橋架替工事 (上部工)

(変更前) 1億9008万円

(変更後) 1億9287万6120円

279万6120円の増額 (全員賛成)

意見書の提出

☆全国森林環境税の創設に関する意見書

地球温暖化対策については森林吸収源対策の推進が不可欠であるが、森林を多く所在する市町村においては、木材の価格低迷、高齢化、急速な人口減少により、主体的に取り組むための恒久的・安定的な財源が大幅に不足している。平成28年度税制改正大綱において都市・地方を通じて国民に等しく負担を求め、市町村による継続的かつ安定的な森林整備等の財源に充てる税制「全国森林環境税」の導入に向け、早期に具体的な制度設計を求める意見書

提出先 関係大臣

衆・参議長 (賛成7・反対2)

▶修繕予定の大井沢温泉館の玄関



答 前回2千部、今回も2千部を増刷する。

郷土食レシピ本再版

問 郷土食レシピ本は評判が良いと言いますが、当初何部作成し、今回はどれくらいか。

答 前回2千部、今回も2千部を増刷する。

一般質問

女性の登用

女性の力をいかに活用するのか

町長 積極的な推進を図っていききたい



佐藤 耕二 議員

問 今年度後半からの取り組みを予定しております。20代から40代ぐらいの次世代女性を対象に、いろんな立場からの発言や女性による元気なまちづくり

答 今年度後半からの取り組みを予定しております。20代から40代ぐらいの次世代女性を対象に、いろんな立場からの発言や女性による元気なまちづくり

女性のまちづくり会議

問 町長の公約に「女性の声を町政に」とあり、また第6次総合計画でも「女性力の導入」と謳っている。町長は女性の力をどのような方法で活用するのか、次の観点から質問する。

答 今年度始めに全戸配布した役員名簿のうち、女性が194人で、19・2%である。環境を整備し、結果的に数字がよくなるようにしたい。

問 特に町民を代表するような意見を伺うものについて、男女の比率を同じにしたい。総合政策審議会委員の女性の比率を上げた。全体的にはまだまだであるが、努力をしていく。

答 水沢温泉館への設置を検討してきた。ポイラーの設置を具現化させたい。

女性の登用を

問 町は平成30年度までの女性定着率を、20%まで引き上げるとしているが、可能か。

答 団塊の世代が大勢退職し、現在いる管理職の採用時点ではどうしても男性の比率が多かった。女性職員の登用はぜひともやっていきたいと思う。

問 子育て世代の女性が、母親としての悩み等を話し合えて、気軽に集まれる場を設置する考えはないか。

答 希望する職種が町内に無いことや、希望する勤務形態等もある。町内全ての就業者のニーズに対応することは困難だが、ある程度の就業の場は確保できている。

子育て世代

問 町内に女性が働く場所が少ないが、雇用の場の確保をどのように考えるか。

答 希望する職種が町内に無いことや、希望する勤務形態等もある。町内全ての就業者のニーズに対応することは困難だが、ある程度の就業の場は確保できている。

問 6次総においても女性が社会進出しやすい環境と活躍できる町を目指しており、女性力の導入がこれからのまちづくりには不可欠である。雇用の推進に努める。

答 一定の援助は必要である。

雇用

問 一定の援助は必要である。

答 一定の援助は必要である。

問 一定の援助は必要である。

答 一定の援助は必要である。

婦人会

問 一定の援助は必要である。

一般質問

林野資源

山の恵みを生かした新しい仕事づくり

町長 十分検討すべきである



宮林 昌弘 議員

問 第6次総合計画の「総合産業基盤強化」について質問する。

総合産業化

問 これまで多くの予算と期間を要したが、成果が上がったとは言えない。どのように検証しているか。また今後どう進めるつもりか。

答 本町には林野資源が豊富にあり、それを地域資源として捉え、今までの視点を変え、新たな総合産業化や健康づくり産業として、産官学が連携し、資源活用型の新しい仕事づくり（起業化）ができればいい。

問 森林資源を生かした木質バイオマスエネルギー等の取り組みについて、検討結果と実施できない問題点は何か。

木質バイオマス

問 森林資源を生かした木質バイオマスエネルギー等の取り組みについて、検討結果と実施できない問題点は何か。

問 西村山地方森林組合から旧睦合小の跡地利用としてストックヤード（貯木場）で利用したいと要請があるが、どう考えるか。

問 薬効成分を含んだ山野草や在来作物を生かした薬膳料理や健康食品づくりを提案したいが、どう考えるか。

健康食品

問 すでに睦合区に説明しているが、現在地元で検討している。町の入り口にストックヤードができれば、木材の町としてPRになるので進めたい。

問 在来作物であるから芋のイヌリンという成分が、血糖値の高い方に薬効があることが分かった。健康食品として商品化できないか。

問 山野草、在来作物などを生かした健康食品づくりを提案したいが、どう考えるか。

仕事づくり

問 全国的にも効能が評価されている。今後研究したい。

問 地域資源を生かした起業化は、喫緊の課題ではないか。町長の旗振り役となる気促しを促したいと思うが、どうか。

答 本町は4つの大学と連携協定をしている。昨年は、山形大学との合同企画として、「西川町らしい健康・食品産業を考える」などを研究テーマとした。また、里山社会文化研究所を立ち上げた。産官学連携はさらに進展するものと期待している。

から芋(菊芋)

答 具体的な調査検討をしていないが、そのような企業があった場合には、十分検討すべきである。

答 地域資源を生かした起業化は、喫緊の課題ではないか。町長の旗振り役となる気促しを促したいと思うが、どうか。

3人の一般質問

3人の一般質問

平成27年度決算全員賛成で認定

平成27年度健全化比率の報告

西川町の健全化判断比率	
実質公債費比率	将来負担比率
全会計の償還額が標準財政規模に占める割合 【25%以内であること】	将来一般会計から負担されると想定される金額等が標準財政規模に占める割合 【35.0%以内であること】
10.4%	7.2%

◆平成27年度健全化比率報告
公債費の減少により、実質公債費比率は10.4%で0.6ポイント減少したが、起債残高や退職手当負担見込み額の増加などにより、地方公共団体の財政健全化の判断比率となっている将来負担比率は7.2%で前年度より1.0ポイント増加した。

一般会計・特別会計決算状況

(万円未満四捨五入)

会計		歳入総額	歳出総額	差引残額
一般会計		56億6,501万円	52億7,149万円	3億9,352万円
特別会計	国民健康保険	7億5,309万円	7億2,999万円	5,010万円
	事業勘定	356万円	347万円	9万円
	施設勘定(大井沢診療所)	8,900万円	8,852万円	48万円
	簡易水道	1億7,382万円	1億7,310万円	72万円
	公共下水道事業	2,525万円	2,475万円	50万円
	農業集落排水事業	413万円	388万円	25万円
	寒河江ダム周辺施設管理事業	8,132万円	8,128万円	4万円
	後期高齢者医療	6億9,911万円	6億9,258万円	653万円
	介護保険	6万円	0万円	6万円
宅地造成事業	74億9,435万円	70億4,206万円	4億5,229万円	

事業会計決算状況

(万円未満四捨五入)

会計		収入額	支出額	収支差引額
病院事業会計	収益的	6億7,514万円	6億7,144万円	370万円
	資本的	570万円	5,989万円	△5,419万円
水道事業会計	収益的	1億3,762万円	1億2,877万円	885万円
	資本的	2,384万円	4,714万円	△2,330万円

◆監査委員の意見

平成27年度一般会計及び特別会計並びに事業会計は正確であると認められる。財政状況は、経常収支比率(必ず必要な金額の割合)が83.2%で昨年度より2.4ポイント改善した。一方、一般会計の町債(町の借金)残高は62億6,567万2千円で2億1,290万2千円増加した。人口減少と少子高齢化が進む中において、取り組みなければならない課題も多く、本町の財政運営については、今後とも厳しい状況が続くものと見込まれる。

自主財源である町税については、的確な賦課、徴収に努められるとともに、国、県に対しては、地方交付税など安定的な財政運営に必要な財源が確保できるよう、所要の措置を講じることを強く働きかける必要がある。

一方歳出については、政策の優先順位を明確にし、選択と集中を図り、これまでの事務事業についての点検や今後の公共施設の管理方針などを定め、行政経費の節減・効率化に一層努めていただきたい。

また、西川町の発展に向け、第6次西川町総合計画や西川町まちひとしごと創生総合戦略に掲げた人口維持や少子対策、産業振興、高齢者福祉などの諸施策や7つの重点プロジェクトを推進するため、健全で持続可能な財政運営になお一層努めていただきたい。

一般質問

自然林対策

ナラ枯れ被害に取り組みを

町長 面的な伐採を含めて検討したい



飯野 咲子 議員

炭を焼き、木を使って暖をとった生活から半世紀が経過して、山が荒廃し、ナラ枯れ被害が広がっている。里山の見直しは必至であり、次の質問をする。

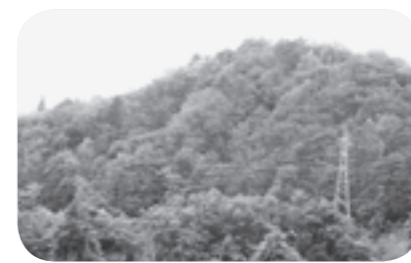
対策は

問 ナラ枯れ被害に対する町の対策、考え方、実施、手法(処理)は。

答 県補助の森林病害虫防除事業により、不特定多数の方が出入りし倒木の危険が伴う場所を選定している。近年では大沼キャンプ場周辺を実施している。

問 ナラの木を守るための対策に取り組みべきではないか。

答 今後は面的に伐採するのがあるが、伐採するのには作業道を開設しなければならない。ただ町で開設しても、個人の山であり、一気にはいかないが、そういったことも含めて検討したい。



▲ナラ枯れ被害の山

町の責任で実施を

問 民有林、区有林の区別なく取り組むべきではないか。

答 これまで自然林には目が届かなかつた。今後雑木林をどう活用するかを考える。そのために人工林主体の作業道開設、配備も含めて検討すべきと考えている。

問 ナラ枯れ等、害虫に対する町の基本計画はあるのか。

答 町の方針として、県の指示を仰ぎながら、*合成フェロモンや伐倒も含めて、補助金を有効に使用して実施するが、町の独自の計画はない。

*合成フェロモン ナラ枯れの原因であるカンナカキクイムシをおびき寄せるために人工合成した物質。

補助金の活用

問 広葉樹林健全化育成事業はナラ枯れを予防する目的で、健康な木を年間5ha切り、作業道も開設でき、木も利用できる。取り組み

むべきではないか。

答 徹底して駆除するのは目標ではあるが、なかなか厳しい。広葉樹林健全化育成事業は事業主体が県である。町でも意見を聞きながら対応したい。

問 この事業を雇用の拡大と捉えて、きこの組合、西村山地方森林組合や町内の各種団体に話をし、取り組んでみては。

答 皆さんの意見を伺いながら検討したい。

チップの需要が高まっており、雇用拡大に努めていきたい。



▲原木きこの栽培

林業全般の推進

問 ストックヤード(野木場)やA材搬出の拡大に力を入れて取り組んでいる現状だが、これからの林業についてどこに力点を置いて、進めるのか。

答 「西山杉」の生産振興と供給体制の整備及び利用拡大に関する指針に基づき、本町の取組方針を定めている。

現在森林組合がストックヤードの設置を予定しているため、設置への支援を行いたい。また、県とともに一体的にA材をしつかり売る体制をとることが大切である。

決算特別委員会

平成27年度一般会計 特別会計、事業会計

決算審査

決算特別委員会は、議長と監査委員を除いた8人の議員が委員となり、一般会計・特別会計の歳入総額74億9,435万円、歳出総額70億4,206万円及び事業会計の収入総額8億4,230万円、支出総額9億724万円を5日間かけて慎重に審査した結果、全員賛成で認定しました。

各種会議

問 情報公開審査会・防災会議・空き家等審議会が全然開かれていないが、何も無ければ開かなくともよいのか。

答 案件が無い時は開催しない。住民からこれらに関する情報があれば今後検討したい。

自主防災拡声器

問 75個の配分先は。

答 自主防災組織内の町内会数の他に、各区に2個配分している。



▲防災ヘルメット・拡声器

避難所の耐震化

問 避難所になっていない集合所もたくさんあり、耐震をしなければならぬと思うがどうか。

答 耐震診断は町指定避難所はすべて実施している。すべての集合所の診断は厳しい。今後の検討課題としたい。

老人福祉センター

問 高齢者の方はひざの痛みで苦労されている方が多いので、大広間に椅子テーブルを設置できないか。

答 旧学校の備品などを検討したい。



▲老人福祉センター

職員提案制度

問 予算が執行されていないが、27年度は1件も無かったのか。

答 昨年は1件も無かった。ここ数年少なくなっている。

ふるさとCM大賞

問 昨年はあまりにもひどかった。

答 企画立案はどのように行われたのか。

答 昨年は※月山情報局の反応が良かったので、スマートフォンを題材に使ってみた。しかし、企画内容については反省している。

※月山情報局
主にフェイスブックを使い西川町の魅力を発信することにより、交流・定住人口を増やそうとしている官民一体の会

環境自然学習センター

問 規模運営をどのように考えているのか。

答 旧大井沢小中学校を利活用し、100人規模の宿泊ができる施設を組み込んでいる。

経費を抑えながら、有効活用を図っていきたい。運営方法には意見をいただきたい。

園芸対策事業

問 当初予算のスノーボールのハウス整備補助金830万円はどうなったのか。

答 県の単独事業で予算が27年度に付かず、28年度当初予算となった。



▲スノーボールハウス

鳥獣被害

問 平成27年度の鳥獣の捕獲数は。

答 猿は0頭、熊は春季捕獲で8頭、その後は許可を取り1頭、合計9頭である。

問 電気柵を設置しているが、設置者からの意見は。

答 被害が少なくなり、大変喜ばれている。効果は大きい。

小水力発電

問 現在大井沢に建設中の小水力発電所の現状は。

答 現在土木関係は終了し、小水力の発電機や水車の発注もしている。

29年度にも設置し、国の補助金が付けば来年の冬前

に事業開始と思っている。



▲小水力発電視察 群馬県黒保根

観光協会の自立

問 月山朝日観光協会の自立問題は怎么样了。

答 自立に向けて観光協会でも検討を進めている。現在でも自立に向けた人件費も措置している。観光協会を引っ張っていくのは事務局長と考えており、適材の人材を探し進めていきたい。

国際観光誘客推進事業

問 これから町の観光事業に対し、町内の観光業者を利用するべきでは。

答 NPO法人が町内に設立された。今後受け入れに対しては打ち合わせを行い進めていきたい。



▲台湾師範大学来町歓迎会

衛生組合

問 初期の目的は達成されており、解散してはどうか。

答 各衛生組合長より活動状況の調査報告をいただいた。今後も報告をお願いしており、町でも実態を把握している。

プール整備

問 高齢者のプールでの歩行運動は大変有効である。プールの整備などできないのか。

答 大規模なプールは難しいが機会を見つけて検討していく。

学校教育

問 特色ある学校づくり負担金の内容は。

答 小学校は、カヌー教室や養蚕指導、読み語である。スキー教室等の各謝礼である。

中学校は、1年生では畑の指導、2年生は仙台研修、3年生は東京研修を行なっていて、まちづくり応援団等への各謝礼が含まれている。

問 町内の旧小中学校校歌のCD作成は8校のみか。それ以前廃校の学校も必要ではないか。なければぜひ作ってほしい。

答 音源として使用できたものについて作成したため、以前廃校されたものはない。地元の協力も必要であり、できるならば歌える方の協力を得て、後世に残したい。



LED防犯灯

問 防犯灯取付は終了したのか。また防犯灯そのものが壊れた場合町の対応は。

答 まだ取り付けていないのは町内で187基で、平成29年度で終了する。今回は防犯灯のLED化としての事業であるので、維持管理としては今後検討する。



▲LED化された防犯灯

答 会場に艇庫・シャワー室・トイレが必要だが、財源的に厳しい。

予算についても県や国、各種団体に足を運び協力を願っている。



▲1000mコースが設置されているオリンピックカヌー競技場

町立病院

問 支出で給与費が1200万円減ったのはなぜか。

答 26年度の退職看護師が3人だった。27年度に全員再任用で採用したため減少した。

問 人間ドックでキャンセルが150人いた。再度日程を指定しての申込み

はあったか。

答 日程が合わない人もいないが、受診してもらえない人が思いのほか多かった。今年度、受診率アップに努めたい。

福祉タクシー助成事業

問 新規事業であるが、152万9千円の予算に対し、執行額が63万円と利用が少なかったのはなぜか。

答 周知不足だったと思う。身体障害者・精神障害者などの手帳を持っている方は220人いるが、利用者は55人であった。

総合がん検診

問 がん検診委託の予算が3千万円に対し、執行額が2200万円と少ない理由は。

ブライダルサポート

問 結婚推進員以外の人でも、結婚を成立させた場合に報償金を支給してはどうか。

答 誰でも仲介すれば報償金を支給するが、周知不足であった。今後広報を徹底する。

公園

問 町が維持管理を委託している公園の中で、ほとんど利用のない公園もある。利用状況を把握しているのか。廃止などの見直しをすべきでないか。

答 使用料もなく、管理人も置いていないので、利用者数の把握はしていない。

見直しは検討すべきだが、一方的に町で決めるのではなく、地区の事情や要望を

答 対象者の把握は最大限の調査で予算化をした。すでに治療中であつたり対象外だった人もおり、検診率は58%となった。

節目検診

問 42歳と49歳が対象であるが、受診率は。

答 対象者が91人で、3分の1の方が受診した。

リハビリ

問 病院内のリハビリ利用者数は。

答 理学療法の患者は979人である。



▲町立病院リハビリ室

聞きながら対応したい。

西川少年少女自然塾

問 27年度は参加者が少なかった。今後どのように展開していくのか。

答 保護者へのPRも含めて、継続していく。



▲参加者がたくさんいた頃の少年少女自然塾

施政方針

問 施政方針で表明している事業や予算に対して執行額が少ない事業がある。町長はどう考えているのか。

高齢者世帯等除雪支援事業

問 利用者が少なかったのは、雪が少なかったからなのか、別の理由があったのか。

答 27年度は雪が少なかったために少ない予算で終わった。



▶除雪が大変な玄関口

答 住民の理解が得られず、目標に届かない事業もあつた。情報の共有に欠けていた。十分注意しながら事業を精査していく。

問 年度途中で実行できないと判断した事業は、補正予算で減額し、議会に報告すべきだ。

答 補正予算で減額し、議会に説明していく。

せせらぎ団地

問 売れ残っている1区画は宅地に適さない。町が用途変更して土地利用することも考えなければならぬのではないか。

答 一昨年末まで購入を希望する人がいた経過がある。売れない状況を踏まえ、たうえで検討したい。

地域おこし協力隊

問 責任を持った仕事を与えてもらえないと聞いている。町に定住したい意識を醸成するためにも、隊員本人の考えを尊重した業務を行うべきでないか。

答 地域づくりを支援するための役割を設定しているが、平成28年度は隊員が定住することに視点を変え、町内で職を持つ手立てを行なっている。



▶地域おこし協力隊が企画した月山マルシェ

ジオパーク

問 ジオパーク認定の見送りをどう総括しているのか。また、今後どのように取り組むのか。

答 月山と自然をどう結び付けるかが審査員から指摘された事項であった。

1市2町2村の首長と話をし、さらに協議を進めたい。

ねたきり老人介護者激励金

問 年間1万円の激励金は安すぎる。介護年数によって格差をつけるべきではないか。

答 現金給付よりも現物給付を主体として、介護環境をいかに良くすることに力を注いできた。今後、意見を聞きながら検討したい。

第6回 議会と町民の対話の集い 新たに各種団体とも実施



▲老人クラブとの対話の集い

問 夫婦で入っても2部屋になるので、1部屋にしてもらいたい。

答 【町】120人の会員がいるが、拡大していかないのが実態である。電気柵設置補助など、町ではできる限りの支援を行なっている。

とこしえ

問 いきいき直売会で販売する野菜の種類・量が少ない。

答 【町】1人1部屋であり、夫婦の場合は2部屋を借りて、それぞれ寝室、居間等に活用していただきたい。

路線バス

問 デマンドバスは、前日に予約をして乗車する場所も決められている。使い勝手が悪くもっと利便性の良い運行形態にしてもらいたい。

答 【町】具体的な実態を聞いたうえで、改善の研究をしたい。



▲婦人会との対話の集い

今回の対話の集いは、町内全地区でなく、睦合・海味沼山・水沢・本道寺の5地区、それに新たに婦人会と老人クラブの2団体を加え、7月25日から8月5日まで開催され多くの意見と質問が出されました。町からの回答は後日聞き取りしたものです。

今後、平成30年度までに他の地区や団体との対話の集いを行います。

問 リニューアルしたのに、なぜ道の駅にしかかわで三山まつりを行わないのか。

答 【町】町民が楽しむお祭りを作る趣旨に沿って、今年も児童生徒たちが参加しやすい小学校付近で実施する。ただし、場所については毎年検討したい。

三山まつり

問 リニューアルしたのに、なぜ道の駅にしかかわで三山まつりを行わないのか。

答 【町】新たな専務を8月から招へいた。しっかりとした販売体制をとっていく。また、栽培から販売まで一貫して行い、原料を安く仕入れて付加価値を付けて高く販売していきたい。

第三セクター

問 株式会社米月山が赤字で撤退も考えなければならぬのではないか。

答 【町】新たな専務を8月から招へいた。しっかりとした販売体制をとっていく。また、栽培から販売まで一貫して行い、原料を安く仕入れて付加価値を付けて高く販売していきたい。

弓張平公園

問 誘客を図るため、県の施設であり、まち自慢の一つである弓張平公園の利活用をもっと積極的に行なってほしい。

答 【議会】県が約240億円を投資した。スポーツ、植物、遊具がそろっている。総合開発(株)で毎年7千万円の委託料で管理している。PR不足を感じるので、町に働き掛けていく。人を呼べる施策を組み、利活用が図られるように話し合っていきたい。



▲弓張平運動公園

問 リニューアル後の実績は。

答 【町】いきいき直売会は、オープン当時は昨年より50%増であり、8月現在で10%程度の増である。

問 広くお客様の意見を聞くために、提言箱を設置しては。

答 【町】検討する。

月山銘水館

問 自然水のペットボトル、現在500mlを250mlにできないか。

答 【町】新たな設備投資が必要であるので、今のところ非常に厳しい。

問 タケノコ・ワラビ等の仕入れ原価が安い。生産者のやる気に結び付けてほしい。

答 【町】山菜の仕入れについては、町であり介入するところではないが、生産支援は行なっていく。

質問や意見の件数

- 議会……………6件
- まつり……………4件
- 西川町総合開発株式会社…11件
- 防災……………3件
- 宅地分譲……………2件
- 用排水路……………2件
- 社会福祉協議会……………1件
- 空き家……………1件
- 体育館解体……………1件
- 婦人会……………6件
- 市町村合併……………1件
- 農業……………2件
- 老人クラブ……………2件
- セミナーハウス……………1件
- 里山社会文化研究所……………1件
- とこしえ……………1件

宅地分譲

問 みどり団地の第2期工事をどう進めるのか。

答 【町】現在の販売状況を見て検討する。

問 みどり団地で除雪や景観など、条件の悪い残った場所の価格を見直しはどうか。

答 【町】現状では難しい。今後検討することがあるかもしれない。



▶みどり団地遠景

山交バス

問 山交バスの運行廃止の動きがあるが、その対応は怎么样了っているのか。

答 【議会】来年4月1日から町営バスで「道の駅にしかわ」〜「寒河江駅」間の運行に向け、現在町では準備をしている。

議員の成り手不足

問 昨年の町議会は、無競争により議員が選出された。無競争は良くない。原因として議員報酬の安さに問題がある。若い議員が活躍できる議会にしてほしい。

答 【議会】立候補しやすい方策を議員懇談会等を開催し、議会で検討している。

三山音頭

問 町の歌、踊りとして三山音頭が定着しつつある。呼び掛けもしているが、議員としても呼び掛けてほしい。

答 【議会】町の歌、踊りとしての普及に努力したい。お知らせでも会員募集や追加歌詞の募集によって周知を図っている。



▲本舗装されていない町道立目南野線

町道

問 町道立目南野線を本舗装整備してほしい。

答 【町】当初の道路改良の時に、沼山区と協議し、砂利道で整備した。状況も変わっており、沼山全体の道路の状況も勘案して次の段階で考えたい。

社会福祉協議会

問 海味温泉の入浴券は要らない。代わりに会費を値下げできないか。

答 【社会福祉協議会】できれば値下げしたいが、運営できなくなる。入浴券3枚はせめてもの御礼であり、温泉を利用していただき、海味温泉の良さを味わってほしい。ご理解をお願いしたい。



▶老人福祉センター内にある海味温泉

交通対策

問 沼山地区の芦沼田まで冬季間のタクシー運行を要望する。

答 【町】これまでバス運行の要望があったが、安全面を考慮し、運行はできないと言ってきた。別の交通手段の要望があれば検討したい。

空き家

問 空き家バンクは町では紹介のみで値段交渉は各自の対応となっている。町で仲立ちできないか。

答 【議会】空き家バンクだけの問題でなく、関連する窓口を一本化(ワンストップ窓口)し、町では効率的に取り組んでいる。

買い物対策

問 将来買い物難民になる恐れがないか。

答 高齢化に伴い、運転免許の返納などにより買い物物は、移動販売車や家族に頼らざるを得ない。補助なども含め暮らししていくための方策を検討してほしい。

答

【議会】町に何度か移動販売車に対する補助のあり方などを質問している。同時に買い物難民にならない対策とコミュニティの場となるような施策を町に働き掛けている。

使用料の補助

問 町が所管する施設を芸術文化協議会使用し、たときは補助があるので、老人クラブにも適用してほしい。

答 【町】今回の体育館の新築に合わせ、各種団体と町長と語る会などで意見を聞き、全体の使用料を協議したい。

用排水路

問 農業用水と生活排水を分ける整備をしてほしい。

答 【町】土地改良区や区または町内会が排水経路を管理しており、個別の相談になる。

セミナーハウス

問 大井沢にあるセミナーハウスの今後の活用は。

答 【町】環境自然学習センターの設置と合わせ、セミナーハウスの活用を協議してきた。なかなか判断がつかないが、利用件数は少ない。今年度中に存続か解体も含めて、地元と話しながら判断したい。



▲頼りになる移動販売車



▶利用者が少ないセミナーハウス



常任委員会事務調査経過報告



～町の重点事業に目を向けて～

総務厚生 常任委員会

- 1. 高齢者福祉対策
- 2. 子育て支援対策
- 3. 交通網整備

高齢者福祉対策

今年4月の町の65歳以上の人口は2322人、高齢化率が40.14%と40%を超えている状況にあり、高齢になっても安心して生活できる地域社会づくり、特に介護施策の充実が喫緊の課題となっている。

平成12年に発足した介護保険制度は、予想以上の急激な高齢化の進展などにより全国的に介護需要に対応しきれない状況となっている。また、町においても町外の認知症グループホームなどの

利用が困難となり、四半世紀にわたり町唯一の介護保険施設としての機能を果たしてきた、ケアハイツ西川のみでは限界の状況となった。そこで、町では、在宅生活を基本としながら通所、訪問、宿泊を組み合わせて利用することができると小規模多機能型居宅介護事業所、並びにサービス付き高齢者向け住宅の整備を支援し、今年7月から供用が開始された。町では介護保険施設の整備が進んでいる反面、在宅介護者への支援が不十分な状況にある。寝たきり介護者激励金として介護年数にか

かわらず年1万円を支給しているが、施設入所者と比較し大きな差がある。在宅介護者には相当な負担がある。と捉えており、本委員会では今後、負担軽減策を検討することとしている。



7月に開所したとしえ西川

子育て支援対策

結婚の仲人をはじめ妊娠期から出産期、乳幼児期、中学生までの医療費無料化、高等教育就学の際の奨学金制度など手厚い支援がある。しかし、27年度の出生数は23人と少子化に歯止めがからない。ただ、23人のうち



▲保育園での水遊び

第3子以降が8人と割合が高くなっている。子育て支援対策の中心は、にしかわ保育園の運営であり、3歳未満児の半数が入園している状況にある。35人の保育園職員のうち21人は臨時職員で対応していることや、近隣市町では公設民営型の保育園が出てきていることなどから、本委員会では7月21日、にしかわ保育園を視察し、今後とも保育園の運営については注視していくこととしている。

「交通網整備」は、現在調査中である。

総合産業（林業）

国や県において、林業を成長産業と捉える施策が次々と打ち出されているなか、町においてしっかりとした施策がない。また県では「森林ノミクス」で林業・木材産業の活性化に取り組んでいるが、わが町にはそれに対応した施策が見当たらない。委員会では現在町からの聞き取りを行い、今後林業関係者との話し合いなどを行いながら政策提言をしていくことにしている。

6月8日開催の委員会で、担当課から森林経営計画の説明を受けた。さらに7月8日には、林業関係補助制度の説明を受けた。また、10月3日には西村山地方森林組合と町の林業について意見交換を行なった。今までの聞き取り内容から一部を紹介する。

森林経営計画とは

森林所有者等が、自ら森林の経営を行う一体的なまとまりのある森林を対象として、森林の施業及び保護について作成し、5年を1期とする計画である。

一体的なまとまりを持つた森林において、計画に基づ

いた効率的な森林の施業と適切な森林の保護を通じて、森林の持つ多様な機能を十分に発揮させることを目的としている。

町では森林組合が窓口となり、区単位で計画を作成している。現在岩根沢・綱取・間沢の3地区で計画が策定され、今年度海味・梅沢の2地区の計画づくりを進めている。

この計画を作成することにより高率の補助が受けられることができる。

補助制度

林業関係補助制度は、多くの制度があり複雑である。すべてを取り上げることができないため、主なものを左の表にした。詳しくは町産業振興課か森林組合にお問い合わせください。

補助事業名	事業内容	補助率
特用林産振興事業	やまがた森林ノミクス推進事業	県1/3以内
森林施業支援事業	森林環境保全直接支援事業	国県合わせて4/10
	環境林整備事業	国5/10

▶新庄市のストックヤード



産業建設 常任委員会

- 1. 総合産業（林業）
- 2. 道の駅にしかわりニューアル後の動き
- 3. 雪対策

「道の駅にしかわりリニューアルの動き」と「雪対策」については現在調査中で、今年度末までに取りまとめる予定である。

追跡調査

part ⑧



廃校施設の利用と解体計画は!

平成26年3月定例会にて、議会に廃校施設の利用計画と解体計画が提示されました。

町には8校の旧小学校があり、耐震化の状況によって二つに大別されました。今定例会において、議会からの要望により、町から現在の廃校施設の進捗状況が提示されました。

耐震化済の校舎

旧川土居小学校

(仮称)西川町歴史民俗資料館

- ① 2階3階は、町の歴史や民俗資料、また安中坊の資料を展示する。
- ② 1階は「交流サロン」「吉川食堂」「吉川加工所」として吉川区に開放することを検討。
- ・ 31年度開設を目指す
- (1階部分は一部運用を開始している)

旧水沢小学校

(仮称)西川町産業交流館

- ① 農産加工グループによる商品開発及び食堂
- ② 国際交流活動の拠点地
- ③ 新規事業者が活用できる施設
- ・ 運用開始している

旧大井沢小中学校

(仮称)西川町環境自然学習センター

- 自然学習・自然研究、伝統文化や生活文化等の、宿泊設備を整えた体験学習拠点施設
- ・ 29年度運営開始を目指す



▶旧水沢小学校

耐震化のない校舎

旧睦合小学校

- 校舎 28年度解体済
- 体育館 耐震化してゲートボール場等として改修中

旧沼山小学校

- 校舎 26年度解体済
- 体育館 26年度解体済

旧岩根沢小学校

- 校舎 27年度解体済
- 体育館 27年度改修済
- で岩根沢区管理

旧西山小学校

- 校舎 29年度以降解体
- 体育館 29年度以降解体
- (解体優先順位1番)

旧入間小学校

- 校舎 29年度以降解体
- 体育館 29年度以降解体
- (解体優先順位2番)
- 入間区利用希望あり



▶旧西山小学校

旧西部中学校

- 校舎 29年度以降解体
- (解体優先順位3番)
- 体育館 ケーシーフレーム(株)に譲渡済

以上が9月定例会で、町から議会に提示された内容です。

議会では、後世に悔いを残さないよう、また町民に負担がかからないように、これからも監視していきます。

質疑

問 旧川土居小は2階3階に町の大事な資料を保管する計画である。しかし、1階の食堂で火を使うが、防火対策をどのように考えているのか。

答 対策はまだ調査していないので、今後専門業者等に設計の委託を考えたい。

問 歴史資料はほとんどが紙ベースだが、紙は太陽光線に弱い。図書館の方が保存するには適しているのでは。

答 町全体の歴史資料館として、休校の活用を考えた。確かに図書館に資料を展示すると完結するが、誘起的な歴史を学習できる場として検討してきた。太陽光線については考慮する。



▶旧西部中学校

問 旧西部中は民俗資料館となっていたが、単なる民具の置き場になっていた。旧川土居小も置き場にならないよう、しっかり活用の方法を考えるべきである。

答 旧西部中は初期の目的を果たせなかったため、26年度をもって民俗資料館としては廃止した。今回は町全体の歴史資料を中心に整備していきたい。

問 旧水沢小での雪室は、昨年好評だったというのだが、今年はどうか。

答 雪室に入れるパイプ等雪の問題があるが、いきいき直売会とともに活用していきたい。

問 旧大井沢小の環境自然学習センターに、100人規模の宿泊施設を作るとあるが、食事の提供はどつするの。

答 宿泊業の方か、または地元で提供できないか、また町内から町外からは決まっていない。具現化委員会でも検討していく。ただし、センターに宿泊するのは自然学習教育に限定していく。

問 旧入間小体育館は耐震化になっていないが、町の基本的な考えは。

答 入間区からはまだ具体的な利用計画が出されていない。現時点では解体が進んでいるが、旧水沢小にも近く、今後の程度利用があるのか地元とも話し合いをしていきたい。

問 旧小学校の基本的な活用方法を町長に聞きたい。

答 8つの学校をすべて解体するのは財政的にも厳しい。耐震化している校舎は、基本的に地域に合った特性を生かし活用していきたい。座談会等を通して地域の方の意見をお聞きし、さらに掘り下げた議論をしていきたい。

活かそうわが町に

6月20日、21日に議会活性化の取り組みについて、栃木県那珂川町議会、益子町議会に行政調査視察をしてきました。

◎那珂川町議会

平成26年3月に議会基本条例、さらに27年3月に議員政治倫理条例を制定している。

「住民に開かれた議会」にするために

(1)委員会等の原則公開
全員協議会や常任委員会、特別委員会など、すべて公開を原則としている。
(2)議会の情報公開の取り組み
定例会、臨時会の様子を町ケーブルテレビで、生中継

を実施している他、録画放送を2回行なっている。定例会での一般質問項目はケーブルテレビの文字放送の他、町のホームページに掲載し、本議会の会議録は閲覧に供していたものを21年度からホームページに掲載し公開している。

(3)議会広報誌の発行
5月、8月11月、2月の年4回発行しており、定例会、臨時会の内容を詳細に説明しているほか、各議員の賛否状況についても掲載している。
(4)一般質問
最初に総括質疑、次から

全国町村議会広報研修に参加しました

7月12日、全国町村議員会館で全国町村議会広報クリニックが開催され、研修を行なってきました。
議会広報のポイントとしては、大きく分けて2つのポイントが示されました。
1つ目は、単なる定例会の「お知らせ」に終わっていないか、議会の「存在感」を示す広報になっているかです。議会の視点に立った見出しを付けることはもちろんですが、見出しを補完する記事や写真の説明も単なる言葉だけの表現でない、議会が訴えるような説明にするようアドバイスがありました。
2つ目は、住民の「知りたいニーズ」に応える



▲議会広報クリニック研修中

一問一答方式を採用しており、質問時間は60分以内とし、活発な質問が行われている。

- (5)地域振興のための特別な取り組み
- ①地元の県立馬頭高校の存続のために、バス通学生徒に対する通学費の支援や下宿生徒の費用援助等の政策提言をして実施されている。
- ②東日本大震災による被災者への支援事業として、避難者の方々に、議員一丸となって、物資を南相馬市に提供した。



◎益子町議会

27年5月から、『鮮度で行こう町議会』をキャッチフレーズに、毎月1回常任委員会などを開催している。

住民に開かれた議会の取り組み

(1)議会日程等の広報
議会開会7日前に「とちぎテレビ」のデータ放送を活用し、会期日程や一般質問者名を放送している。また同時に防災無線でも事前広報を行なっている。議会のホームページでは、会議録閲覧システムを導入している。

(2)模擬議会の実施状況
子ども議会や女性模擬議会を開催している。

(3)地域振興のための特別な取り組み
震災からの地域再生に向けて、町の災害復興への一層の対応を望み、23年度と24年度に議員報酬を15%削減し、2か年度で約1300万円を支援している。



▲益子町議会議場での説明

近年、本町議会も議会基本条例制定、議会と町民の対話の集い、行政評価、政策提言を実施しており、レベルアップしていることを実感しました。

～親しまれる「議会だより」をめざして～

10人の新たな読者モニターが決定

よりわかりやすく、読みやすい「議会だより」にするために、町民の皆さんの意見は欠かせません。1年間よろしくお願いします。

※モニターの皆さんから寄せられた意見の一部は、毎回議会だよりで紹介しします。

※昨年の10月から1年間、読者モニターをしていただきました8人の皆さん、ご協力ありがとうございました。



議会の動き

- 議会全員協議会
 - 9月7日 山交路線の町営バス代替運行等
- 議会運営委員会
 - 8月22日 第3回定例会の運営
- 総務厚生常任委員会
 - 7月21日 事務調査「子育て支援」
 - 9月6日 事務事業評価等
 - 10月7日 事務調査「寝たきり介護者激励金」等
- 産業建設常任委員会
 - 9月6日 事務事業評価等
 - 10月3日 西村山地方森林組合との意見交換等
- 広報公聴常任委員会
 - 8月26日 議会と町民の対話の集い等
 - 9月7日 議会だよりレイアウト会議
 - 9月20日 編集会議
 - 9月23日 編集会議
 - 9月28日 第1回校正
 - 9月30日 第2回校正
 - 10月4日 第3回校正・アドバイザー指導
 - 10月7日 第4回校正

『女性』シリーズ 5

なないろキッズ



代表 奥山 美樹さん (海味)

「なないろキッズ」のはじまり

なないろキッズは平成18年4月に発足しました。当時の保育園の先生から、「西川町に育児サークルを作ってみないか。」と声をかけていただき初期メンバー7組で活動が始まりました。

7人の子どもたち一人一人の個性から、なないろキッズとサークル名が決まりました。手探りのスタートでしたが、毎月1回集まり遊びに出かけたり、ピザやパンを作ったりしました。時には子育ての悩みを相談したり、先輩ママにアドバイスをもらったりと情報交換の場でもありました。

親子で楽しく〜

今年、10年目を迎え、現在は9組の親子で活動しています。

今年度は町内の方にもっと知ってもらおうと、みんなが気軽に参加できるようなイベントを考えました。

5月のどろんこ田んぼ運動会では、体験したことのない泥の感覚に、子どもたちは裸足で入るのが怖かったようです。地域おこし協力隊の田んぼO×クイズに歓声をあげながら、田んぼの中でも全力疾走！親子で全身泥だらけになりました。

7月のスポーツチャンバラ体験では、西川小学校の体育館を借りてルールを覚えてもらいながら、トーナメント式の試合をしました。協力いただいた西川町剣道連盟に剣道体験もさせてもらい、親子一緒になって遊びながら、礼儀作法の大切さも学びました。

8月の月山マルシエでは、子どもたちが暑い中、ママたち手作りの雑貨を「いらっしやいませ！」と一生懸命販売してくれました。

各イベントには地域の方、西川町総合開発(株)、地域おこし協力隊、剣道連盟とたくさんの方々のご協力がありました。なないろの「わ」から地域の「わ」に歩みだした年でした。これ

地域のつながりに感謝

各イベントには地域の方、西川町総合開発(株)、地域おこし協力隊、剣道連盟とたくさんの方々のご協力がありました。なないろの「わ」から地域の「わ」に歩みだした年でした。これ

議会へのおさそい

皆さん傍聴してみませんか

インターネットでもご覧いただけます

次回定例会は
12月です
(12月2日~8日の予定)



※上記QRコードをスマートフォンなどで読み取ると、議会ホームページにアクセスします。



▲泥だらけになったどろんこ田んぼ運動会

からも子どもたちと一緒に料理をしたり、遊んだりして、育児を楽しむ活動をしていきたいと思えます。

編集後記

9月1日は防災の日。昨今の天変地異は想定を超え台風の動きも特異で、各地に記録的な大雨を降らせ、大きな爪痕を残しています。災害はいつでもどこでも起こり得ます。

町では今年度、防災行政無線を設置します。町民の安全、安心、命を守る取り組みです。

月山に見守られ、この豊かな里山で、力合わせ、みんなの声が響く、平和な日々が、永久に続くように、共にかんがる所存です。

(飯野 咲子)

《発行・編集責任者》

議長 伊藤 哲治

《編集委員》

- 委員長 佐藤 耕二
- 副委員長 飯野 咲子
- 委員 奥山 敏行
- 委員 大江 広康

●ご感想お寄せください。